

春季カップ戦 2年生

4月26日(日曜日)はれ(強風のコンディション) 七国小

南八王子4-0MYFC 前半:2-0

得点 永沢君 工藤君 山本君 2

今回の試合は内容的に良い試合だった。
前半早々、スローイングを永沢君がボールを受け流しそのままドリブルでゴールまで運びシュートを放つ! ボールはゴールネットの奥に・・・(先取点だ)。

強風の影響を受け両チームとも苦戦を強いられている・・・

相手のクリアーでセットプレーだ! コーナーキックがゴール前までとどくか?

キッカーは山本君だ・・・コーナーからキックをする・・・そこに工藤君が飛び込む工藤君はヘッドでボールに合わせる・・・どうだ! ボールはゴールラインをわり2点目だ!

気仙君もドリブルからシュートを放つがキーパー正

正面にボールがいつてしまう。残念!

後半に入り斎藤君が相手ペナルティーエリア付近でファールをもらい南のフリーキックだ。キッカーは山本君だ! 相手の壁が目の前に・・・山本君は落ち着いてボールを蹴る! ボールは相手キーパーの頭上を越えゴールネットの奥に突き刺さる! 3点目だ!

その後も山本君が左サイドからドリブルで駆け上がる・・・厳しい角度からシュートを放つ。ボールはネットの奥に・・・ピッチにフォイスルが鳴り響く!

南八王子の勝利だ!

by 小出コーチ



春季カップ 5年生

2009年4月26日

会場 鎌水小学校 担当コーチ 小松コーチ 帯同審判 三浦コーチ

試合の目当て 得点をする 2人以上は抜くことを選手達が決めました。

南八王子 4-0 鎌水

得点者 青木君 工藤君 奈良君 2点

試合開始から攻め続けるもゴール前を固める相手になかなかゴールを割れません。

17分スイパーの奈良君が上がり、左コーナ側に相手を引きつけブルバックのクロスを入れると、青木君がフリーで合わせシュートを決め待望の先取点を得ました。後半に入ると前半よりも動きが良くなりました。工藤君は縦横無尽に動き回りゴールが見えればシュートを打ち26分にはゴール前混戦からシュートを決めました。つづく28分、32分と立て続けに奈良君がドリブルから2ゴールを奪いました。

選手皆それぞれが持ち味を出し切ったよい試合でした。チームとしての戦い方も出来つつあります。落としからの展開、サイドバックのオーバーラップ、ミドルシュートなど、試合の目当てをよく実行していました。

ゴールキパーの牧井くんが頑張っています。キャッチングはこれからですが、相手を恐れずにタイミングよく飛び出して取りにいき頼もしく思います。

by 小松コーチ

春季カップ戦 4年生

4月12日(日) 陶録小

新年度最初の公式戦。4年生は5年生チーム登録6人を除く13人で登録。4チームが入ったブロックの初戦です。

先発、()内は交代

GK 牛窪君 DF 井上君、中野君、小沢君、坪君 MF 高橋君、小見君、矢久保君、三浦君 FW 能登君(坂上君)、坂上君(白井君)

・チームのめあて 1対1で負けない

南八王子0-2七小SC 前半0-1

前半は一進一退、双方中盤で激しいボールの奪い合いが続きました。失点は7分相手選手のドリブルを3人が次々あたりにいきましたが止めきれずにシュートを決められました。南はあまりチャンスを作れずにいましたが、11分右のDF坪君が中央突破。シュートを打ちますがキーパーセーブ。0-1で前半終了。

後半4分に追加点を奪われました。失点シーンは南の左サイドを相手選手がドリブルで突破し、クロスからこぼれたところを決められたものでした。ドリブルしてくる選手にはディフェンスがふたりつきましたが、ボールを奪えず。前半の失点シーンと同様相手選手をフリーにさせたわけではありませんでしたが、止めきることもできませんでした。1対1で負けないこと。また2、3人でディフェンスするときはチャレンジ(奪いに行く)&カバーの意識を持つことが大切だと思わせるものでした。

2点リードを許す展開となりましたが、意気消沈することなく南ペースにもっていきました。6分相手クリアをカットした井上君のシュート。8分中野君-坪君-井上君とショートパスがつながり、坪君のシュートへ。さらに9分はビッグチャンスでした。坪君がハーフラインから右サイドライン際を粘りのドリブルで3人抜き中央ヘグランダークロス。高橋君がダイレクトシュートを放つが惜しくもゴールを割ることはできませんでした。そのまま試合は0-2で敗れました。

負けた試合でしたが、選手個々のいいところもチームの収穫もたくさんありました。MF高橋君、三浦君、矢久保君はよく走りボールにたくさんからみました。アプローチが早く、ボールを奪う機会も多かった。奪った後のプレーをみがいたらさらに良くなると思います。能登君は試合ごとにチャンスにからむシーンが増えています。後半今までになくお互いに要求する声が多く聞こえてきました。今後コーチングにもつながっていくのではないかと期待しています。良いことだと思しますのでこれからも続けましょう。

由井三小に戻ると試合後でしたが、みんなから「練習やりたい」「たくさんやろう」とリクエストがありました。よしそれならと軽めで上がる予定でしたが、バリバリ練習しました。こういうのってうれしいことです。次の試合もみんなでGAMBAろう!

by Bクラスの加藤コーチ

自分を育て、共に育つ 三間の世界

名古屋グランパスの監督 ストイコビッチ(妖精ピクシー)が「選手が何をしたいかを指導者はよく知っていなければならない。それについて良かったかどうかアドバイスしなければならない。」

言っています。自分のめあて、チームのめあてが“何をしたいか”に当たります。4年生も5年生も自分達のめあてを自分達で決めて試合に臨んでいます。試合後、達成できたかを振り返り、何ができて、何がもう少しだったかを反省することで、課題が明確になり、練習の内容が決まってきます。自分達で創る、より主体的なサッカーの実現です。

三間の世界が充実し、子どもたちが練習の内容を選択することも可能になってきます。短期・中期・長期の見通しをもつこともできます。大人の思惑、予定する通りに育つのではなく自ら選ぶ選択アイデンティティが育ってきます。